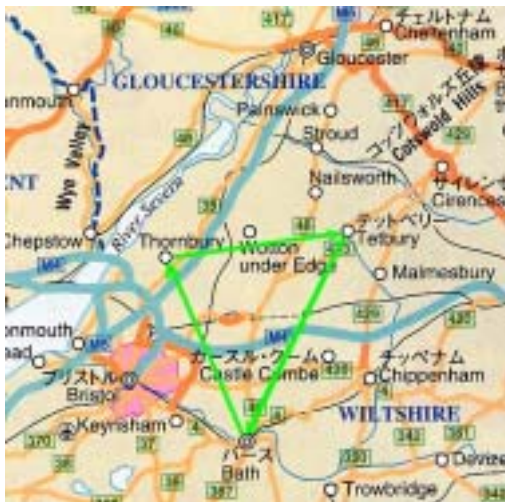


英国南部旅行(1999)

その5：バスとソーンベリー

8月23日(金)

ホテルのレストランで朝食を済ませ、National Geographic Traveler(日本版)のヨーロッパ 運河と古城(華やかな風景と歴史に彩られた英国の古城)に紹介のあったソーンベリー城からブリストルを経てバースのコースを計画し、出発した。しかし、途中で道を間違えバースの方向に行ってしまったので、バースを先に訪れ、時間の関係でブリストルを割愛し、ソーンベリー城を訪れた(下図左)。



イギリス風ガーデンが眺められた。



上の写真はホテルのレストランで窓からは美しい

どこをどう走ったかほとんど記憶に残っていないが兎に角、昼前にバースに到着した。観光案内所で市内地図をもらい見所の説明を聞いた。その内で、ローマ浴場博物館(左の写真)とバース寺院、ロイヤル・クレスセントを訪ね後、市内を自動車ぐるっと回った。

バースの歴史では紀元前 5000 年石器時代の乖狩人たちが温泉の周囲で狩猟をしたという記録から始まり、西暦 65 年ごろローマ人が神殿と浴場を中心に、町を建設した、その後もいろいろな人たちの関わりがあり、1880 年ローマ浴場コンプレックス全体が発見され、発掘が行われた。1942 年には空襲により大きな被害を受けたが 1987 年世界

文化遺産指定を受けた。

右の写真はロイヤル・ク
レッセントである。7年の
歳月かけて1774年に完成
したと言う。114本のイオ
ニア式の柱で飾られた半
楕円形のテラスは、30軒
の大邸宅からなり、シーズ
ン毎に家を借りる富裕な
名士たちを集めた。隣のサ
ーカスと言う英国は初の
円形の街路の直径はスト
ーンサークルのそれと一



致しており何らかの相互関連があるのかも知れない。まだまだ見たいところがたくさんあったが市内の中心にあるホテルで昼食を済ませ、次の目的地ゾーンベリーへ向かった。

ゾーンベリー城の場所は非常に判り難かった。何回か車を止め道を歩いている人に聞いてようやく到達できた。この城はヘンリー8世が第3代バッキンガム公爵に建設を命じて1511年に建設が始まったが、完成前直前の1521年バッキンガム公に謀叛に意思ありとして処刑したと言う悲しい歴史がある。その後、33年間ヘンリー8世は荘園として利用したと言う。現在はホテルとして利用されている。宿泊客に聞くと銃眼と分厚い檜の扉に守ら



れ、威厳に満ちたベッドで寝ていると、時の流れを超越した気分になると言う。外壁は崩れかけており、時代の移り変わりを感じさせた。すぐ隣の教会では地元の人々の結婚式が行われていた。パンフレットにあった空中からの写真を次ページに載せておく。

左下の塔のある建物が教

会、中央が城、左の写真は右の方から撮ったものである。

夕刻、テットバリーのホテルに戻り、町の中心のレストランで夕食をとった。

